

第1回 庄内町行政改革推進委員会 会議記録

日時：平成18年4月28日（金）9：30～

場所：役場西庁舎 小ホール

出席委員：太田重義 齋藤耕治 秋元一夫 川村昭三 鈴木富士雄 高橋克弘 難波貞博 和田明子

欠席委員：足達健一 佐藤敏雄

事務局：情報発信課長 情報発信主幹 企画係長 永田主事

1 開 会 (9：30)

2 委員長あいさつ

3 協 議

(1) 庄内町集中改革プラン策定スケジュール等について

●資料1によって事務局説明後、承認を得る

(2) 庄内町集中改革プラン（案）について＜実施項目1-1～4-2までの11項目＞

●資料2～6及び集中改革プラン実施項目によって全般を事務局説明

●資料2に記載の項目についての質問・意見

(1-2 事務・事業の運営形態の見直しについて)

・立川保育園の保育料も所得に応じた料金設定となっているのか。

→そのようになっているが、現状では1町2制度の状況にある。

・公民館の運営について、総合計画が決まっていないため削除するのであれば、幼稚園・保育園についても同様の理由で掲載できないのではないか。

→幼稚園・保育園については総合計画において、集中改革プランとの整合性を図っている。ただし、公民館については、策定中の総合計画において、「地域自立支援計画」において方向性を定めるとしているため、削除させていただいた。

・ガス・水道事業、カート事業、外郭団体の整理合理化における調査検討期間が2～3年間となっているが、民間経営の感覚からは到底理解できない。行政ほどデータを持っている組織はないため、地域のリーダーとして率先して変革を進めていくべきである。

・調査検討期間の理由につき、説明責任の確保のためにも、なぜ1年間でできないのか明確にすべきである。そのことについて本部で議論すべきである。そうでないと住民が納得できないのではないか。

・特にカート場については、企業と同様のものと思われる。なおさらこういった施設については、今すぐにでも改善していけるはずである。もし、うまくいかなくてもその都度修正していけばいいのではないか。

・役場内部における人員配置、役割分担のシステムが明確でないため、全く進まないのではないか。

- ・職員自らが問題意識を持たないため、明確な方向性が見られない。常に自分の仕事に自己問答をするくせを付けていかないと変革は進まない。
- ・幼稚園・保育園については、具体的内容が出てから改めて議論したい。

(1-4 補助金・負担金の整理合理化、1-5 第三セクターの抜本的な見直しについて)

- ・第三セクターの経営については、もっと情報開示をしてディスクロズしていくべきである。今後の経営がかなり厳しい状況の中、町としても50%以上の出資をしていることから、もし破綻してしまったら責任問題となるのではないか。このような状況からして、まずは経営内容や存続意義についての議論をしていくのが先と思われる。補助金等の削減云々についてはその後の問題である。
- ・第三セクターについては、資料4の他に「賃借対照表」「損益計算書」を示していただきたい。それらは私法上、いつでも公示できるものである。
- ・補助金総額等の現況値は出せないのか。
 - 総額について出すことは可能であるが、単独補助金や広域事業補助金などの性質別の色分けがされていない状況にあるため、プラン策定期限までの積み上げは困難である。
- ・補助金の性質についても早急に色分けをし、再度検討していくべきである。5月中に補助金の振分けをし、6月に出せないものか。
 - この作業は財政係からしていただくこととなるが、決算統計の時期と重なるため、困難であると考える。
- ・指定管理者制度を導入すれば、町の補助金は廃止となるのか。
 - 基本的に指定管理者制度を導入したとしても町の補助金は委託金として存続する。少しでも町の持ち出しを少なくするために、業者の公募を実施し選定する。
- ・北月山荘の存在意義を住民に提示していくべきである。それを明確にしないということは許されないことである。
- ・北月山荘については、町の立谷沢流域の開発構想によって存在意義はあるものと思われる。ただ、庄内月山観光株については早急に検討していくべきである。

(本日提示した部分全体について)

- ・4-1 人事管理の適正化の人事評価システムの確立についても、国の動向を待つというのは消極的ではないか。地方から変革を進めていくべき。
- ・国のシステムへの依存ではなく、庄内町独自のカラーを出したシステムも構築を図るべきである。そうしないとこれまでと何ら変わらないのではないか。
- ・4-1に記載の概要・効果は職員の立場からの表現となっている。こういった表現はおかしいのではないか。管理者の立場からの表現に改めるべきではないか。
- ・このプラン全体を通して、町長のカラーが見えてこない。
- ・人が動くというのは、「理念」と「金」である。それをいかに有効に使っていくシステムにしていかないといいものは作れない。それが組織を動かすための原理原則である。
- ・いかに給料に差を付けるかなどを規定している国の制度に惑わされることなく、庄内町独自のシステムを構築してほしい。それをうまく活用して、職員の能力を活かすことが

できるシステムを望む。

4 その他

次回以降は、引き続き<5-1>からの部分につき、議論いただきたい。資料等については事前に配布したい。

5 閉 会

(1 1 : 3 0)